

衆議院議長 様

参議院議長 様

教職員をふやし、30人以下学級の早期実現 義務教育の完全無償化を求める請願

【請願趣旨】

全国いっせい学力テストやそれに伴う自治体独自の学力テストの実施と結果の公表が、点数獲得競争に子どもや教職員を駆り立て、苦しめています。道徳の教科化、小学校から外国語教育の実施などで授業時間が増え、「子どもたちが楽しみにしていた行事がなくなった」「休み時間の短縮」「給食は15分間で」など、子どもも教員も時間に追われています。今年2月、国連子どもの権利委員会が「あまりにも競争主義的な制度を含むストレスフルな学校環境から子どもを解放する」措置をとるよう日本に勧告しました。子ども一人ひとりに寄り添えるよう、先生を増やし、少人数学級を国の責任で早期に実現することが求められます。小中一貫校という名のもとでの、学校統廃合は地域壊しにつながり、子どもの成長にとっても問題です。

19年5月には「高等教育修学支援法」が成立、「大学無償化」と安倍政権は宣伝していますが、減免対象の学生は1割と無償化には程遠いものです。しかもその財源は消費税増税によるものです。子ども7人に1人が貧困状態にあるなか、せめて給食費や教材費など義務教育は無料にと、完全無償化を望む声が多数です。

2020年度予算案の審議にあたり、子どもたちの健やかな成長と発達を保障するために、OECD加盟国並みの教育予算の増額を求め、以下要請します。

【請願項目】

- 1、国の責任で小中高校の30人以下学級を実施し、正規の教職員を増やすこと
- 1、給食費、教材費を含め義務教育を完全無償化すること。就学援助の準要保護の国庫補助の復活など、国による財政支援をおこなうこと
- 1、全国いっせい学力テストをただちに中止し、せめて抽出方式に戻すこと
- 1、公立私立とも高校授業料を無償化し、高校、大学生など対象の返済不要の給付制奨学金制度を拡充すること。有利子の奨学金をただちに無利子にすること
- 1、学校施設（教室、体育館、特別教室）への空調（冷房）設置を促進するため、国の予備費や補助金を増額すること。学校運営費を増額すること

名 前	住 所



2019

新日本婦人の会

東京都文京区小石川 5-10-20

- ・名前、住所は省略せず、一人ひとり明記してください。「〃」「同上」は無効です。
- ・この個人情報は国会請願以外使用しません。